

# 耳鼻咽喉科領域感染症に対するガレノキサシン (GRNX) の細菌学的効果について

伊藤 真人

金沢大学附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

**【はじめに】** 近年、耳鼻咽喉科領域感染症の主要起炎菌の薬剤耐性化に伴い、治療が長期化してしまう遷延例や、反復例が増加してきている。この原因として、従来の経口抗菌薬では耐性菌の除菌効果に乏しく、症状改善時にも細菌が上咽頭をはじめとした病巣部位に遺残している可能性がある。ガレノキサシン (GRNX: 商品名ジェニナック) は、耳鼻咽喉科感染症の起炎菌 (肺炎球菌, インフルエンザ菌) に対する強い抗菌力を有している。さらに良好な体液・組織移行性が得られることなどから、新たな耐性菌を誘導し難い薬剤である。

**【方 法】** 今回多施設共同研究として、上気道炎、中耳炎または副鼻腔炎と診断された患者の病巣部から検出された細菌を対象に、GRNX の細菌学的効果 (除菌効果) を検討した。

**【結 果】** 有効性解析対象症例 89 例のうち、80% 以上の症例は中等症以上であった。急性副鼻腔炎が 41 例と最多であり、肺炎球菌 (48%)、インフルエンザ菌 (27%)、モラキセラ・カタラリス (9%) が高頻度に検出された。これらの細菌に対する GRNX の感受性は、比較検討した抗菌薬のなかでも極めてすぐれており、その結果として高い細菌消失率が得られた。GRNX 治療例では効果の発現が早く、臨床所見の改善も早期に見られたので、実際の症例を供覧する。